2023 年度派遣交換留学修了届

私は海外協定校に派遣され、この度交換留学を修了しましたので、下記のとおりご報告いたします。

■基本情報

留学先国	オーストラリア
留学先大学	ディーキン大学
形態	□国立　☑公立　□私立　□その他
学年歴	Intake7.8.9　8 月～12 月
学生数	約 53000 人（留学生約 10000 人）
創立年	1974 年
留学先での所属学部	語学学校のためなし
留学時の学年	3 年
留学開始・終了時期	2023 年　8 月　7 日～　2023 年　12 月 10 日　（　4　カ月）

■留学先での生活について

① 大学がある町やキャンパスの雰囲気はどうでしたか？
学校の周辺は住宅街や公園が多く、比較的落ち着いている印象だった。また、飲食店が複数あり、公共交通機関の駅も近くにあったため、非常に便利だった。キャンパス内は様々な国の人がおり、多文化の印象があった。キャンパス内には図書館やジム、カフェなどの施設が豊富だった。
② 留学中はどこに住んでいましたか？
a.　大学寮　（　）：　何人部屋でしたか（　人） b.　アパート　（　）：　何人部屋でしたか（　人） c.　ホームステイ（　〇　）：　何人部屋でしたか（　１人部屋　2 部屋） d.　その他　（　）：　具体的に：
③ 住環境はどうでしたか？
自分の家は昼食・夕食はホストマザーが用意してくれ、朝食は自分たちでパンを焼いてセルフで食べていた。部屋は 1 人部屋で 6 畳ほどの部屋を用意してくれ、非常に良い環境で過ごすことができた。また、ホストマザーが綺麗好きだったので、トイレや洗面台、キッチンを含め清潔な空間が保たれており、土足とスリッパで家の出入りも区別されていたので、日本にいる時とあまり変わらない暮らし方

だった。

④　現地のインターネット環境はどうでしたか？

あらゆるところに Wi-Fi 環境があり、インターネットで困ることはほとんどなかった。しかし、学校内にいくつか電波が悪い場所があり、学校の Wi-Fi を接続しないとインターネットを使えない状況もあった。

⑤ 食事はどうしましたか？

a. 大学・寮のミールプラン（　　）
b. 主に外食　　（　　）
c. 自炊と外食が半々程度（　〇　）
d. その他　　（　　）具体的に：

⑥ 留学先で他の留学生や現地学生とどのように交流を深めましたか？

クラスには日本人を除き中国やベトナム、サウジアラビアなどの国の人が多く、ランチタイムで一緒にご飯を食べるようにしてその人たちと交流を深めた。現地の人との交流は、学校内のクラブに参加し、活動を通して交流する機会を増やした。さらに、そのクラブでできた友達の誘いで外部のクラブに参加する機会も多々あり、交流の幅が広がった。

⑦ 余暇や長期休暇はどのように過ごしましたか？

一つのクラスが終わると、次の新しいクラスが始まるまで約 10 日休暇期間があったので、その期間を利用して旅行へ行った。自分の場合は 4 か月の間に 2 度休暇があったため、それぞれの休暇でシドニーとゴールドコーストへ行った。

⑧　健康管理や危機管理で注意したことについて、アドバイスがあれば具体的にお願いします。

自分の家の周りは住宅街ばかりで夜は街灯が少なかったので、できるだけ用がない時は外に出ないようにした。夜に外出する際は、常に周囲を警戒し、家の付近ではできるだけ友達と通話でつなぐようにした。

⑨　文化、習慣、宗教の違いなど、生活全般（衣食住）に関するアドバイスがあればお願いします。
オーストラリアでは、水を節約する習慣があるため、シャワーを浴びる時間を制限されることが多いです。実際、自分のホームステイ先では 10 分以内と決められていました。 また、宗教的な関係で、豚を食べない人やお酒を飲まない国の人がいるのは珍しくないため、友達と外食する際は、そこの配慮をする必要があります。
⑩　どのような保険に加入しましたか。（　　）に〇をつけてください。
a. 留学先大学が指定した保険　　（　　） b. 個人の保険のみ　　（　　） c. 大学指定の保険と個人保険の両方　（　〇　）
⑪　予防接種は必要でしたか。（　　）に〇をつけてください。
a.　はい　（　　）　具体的に： b.　いいえ（　〇　）
⑫ 現地で病院に掛かったことはありましたか？
いいえ
⑬ 大学内の医務室・診療所（附属病院など）で医療サービスを受けることは可能でしたか？
はい
⑭ 学内外で問題があった時には誰に相談しましたか？留学先に相談窓口はありましたか？
留学生サポートラインを利用した。
⑮ 現地での危険情報をどの様に収集し、どのような防犯対策をしましたか？
インターネットでメルボルンのニュースを見るようにした。

■留学先での学習について

① 留学先で履修した科目・時間・授業内容について教えてください。 ※ 詳細は別紙「学習・研究活動レポート」に記載をお願いします
受講した科目：EAP2,3,4 授業時間：午前 2 時間、午後 2 時間 授業内容：主に大学進学に向けた内容で、エッセイの書き方やディスカッション、プレゼン発表などを学んだ。英語 4 技能の中で特に重視されていたのはライティングスキルであり、時間制限ありのライティングテストや、約 1000 字のライティングエッセイ、論文の要約・言い換えなどを特に学んだ。その他にもグループでのディスカッションテスト（EAP3,4 のみ）やリスニングテスト（EAP2 のみ）、グループ・個人プレゼンテーションなどを行い、英語 4 技能すべてを学ぶことができた。
② 授業履修の際に、注意したほうがいいことがあれば、なるべく具体的に教えてください。
学校内のクラスは EAP のほかに GE（一般英語）、IELTS コースがあり、それぞれの目的に合わせてクラスを選択すると良い。私の場合は、特に伸ばしたかった英語のスキルは日常会話のスピーキングであったため、GE のクラスを最初は希望していたが、日本人比率が EAP の方が少なかったため、毎回 EAP クラスを選択していた。EAP の内容は GE と違ってかなりアカデミックだが、ディスカッションなど会話する機会は充分にあり、クラスメートの英語レベルも高いため、結果的にスピーキングスキルの改善につながった。私が留学していた時期は、GE のほとんどのクラスの日本人比率が 80%前後だった。また、新しいクラスが決まってからもコースを変えることができるので、もし変更したい場合はレセプションに行くと良い。
③ 授業に関して、困ったこと、うまくいったこと、努力したことなど、教えてください。
周りのクラスメートの英語力が高く、ディスカッションの時間にそれぞれの意見を積極的に交わしたり、発表を積極的にしていたりと、初めの方はかなり圧倒された。授業内容も論文や記事を扱って進めていくので、それについていくのが大変だった。しかし、授業についていくために家では予習・復習や自主学習をし、また授業外ではクラスメートと積極的にコミュニケーションを取る時間を作り、英語力向上に励んだ。その結果、ディスカッションでは他の人が言った意見を明確に聞き取れるようになり、また自分の意見をより自信を持って言えるようになった。クラスのレベルが上がるにつれて、わからないことが多々あったが、先生やクラスメートと積極的にコミュニケーションを取って理解するよう努めた。結果的に、すべてのクラスで合格することができた。

■留学前後の外部語学試験の成績・資格試験の実績について

① 外部語学試験

〔留学前〕	〔留学後〕
TOEIC700 点	TOEIC810 点
②　資格試験	
〔留学前〕	〔留学後〕

■今後の進路等について

① 卒業時期について教えてください。（わかる範囲で結構です）〇をつけてください。
a.　（　　）４年で卒業予定 b.　（　〇　）卒業は延期する予定（延長予定期間：１年　　）
② 就職・進学のための活動について教えてください。（留学中にしたこと、留学後の予定など）
留学中に何の目標を立て、その目標を達成するために具体的に何をしたかに意識を向けた。留学後は TOEIC を受験し、就職活動でその英語スキルを証明する予定である。

■留学全般について

① 留学を終えての学習成果を教えてください。
EAP(English Academic Purpose)のクラスを 4 か月間で計 3 クラス受講し、最終的には学校内で最もレベルが高いクラスで合格することができた。 クラスは大学・大学院進学を目指す人向けのアカデミックな内容で、英語の論文を扱ってディスカッションやプレゼンテーションを行った。また、エッセイを書いたり、ライティングやリスニングのテストをクラス内で受けたりした。
② 留学して、何が変わったと思いますか。
まず、英語力に関しては、日常会話で使うスピーキングとリスニングスキルだけでなく、リーディングとライティングスキルも学校の授業を通じて伸ばすことができた。また、授業中に発言することに対する意識が変わった。海外の生徒は気になることがあったら躊躇なくなんでも先生に質問したり、答えが間違っていても恐れず発表したりと、かなり積極的な姿勢が見られた。その環境に 4 か月間いたため、そういった積極性に対する意識が変わった。

また、日本と海外の文化や物事の価値観、公共のモノ（トイレなど）の清潔さなど、あらゆる面で日本との違いを知ることができ、価値観が大きく広がった。
③ 留学を考えている人へのメッセージをお願いします。
自分が思っていた海外の人や町の雰囲気のイメージと実際とではまったく違うんだなと、実際にオーストラリアに住んでみてとても感じました。もちろんこの留学を通して英語力はかなり改善されましたが、それ以外で学んだことはとても多かったです。もし留学に行く目的が英語力向上のみなら、他にも留学中にしかできない目的を考えた方が良いと思います。また、留学での学びの幅をより広げるためには、自分が行く予定の町について調べてそこで何をしたいかを決めておくことや、根本の英語力を留学前に伸ばしておくことがとても大事だと感じました。

■学習・研究活動レポート

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
EAP2 (English for Academic Purpose)	アカデミック英語

科目設置学部・研究科	
履修期間	8 月 14 日～9 月 15 日
単位数	
本学での単位認定状況	
授業形態	対面
授業時間数	午前 2 時間　午後 2 時間
担当教授	Christian, Peter
授業内容	ライティングエッセイの書き方、グループワーク、リスニング練習、グループプレゼンテーション
試験・課題など	ライティングテスト、700 字エッセイ、リスニングテスト、グループプレゼンテーション
学習成果（自由記入）	英語でのエッセイの書き方や、フォーマルな英単語を主に学ぶことができた。また、文献の探し方も学ぶことができた。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
EAP3 (English for Academic Purpose)	アカデミック英語

科目設置学部・研究科	
履修期間	9 月 25 日～10 月 27 日
単位数	
本学での単位認定状況	
授業形態	対面
授業時間数	午前 2 時間　午後 2 時間
担当教授	Celia, Michele
授業内容	エッセイの書き方、リファレンスの書き方・探し方、リーディング、ディスカッション
試験・課題など	ライティングテスト、800 字エッセイ、ディスカッションテスト、個人プレゼンテーション
学習成果（自由記入）	効率の良いリファレンスの探し方や、良いディスカッションの仕方などを主に学ぶことができた。

■学習・研究活動レポート

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
EAP4 (English for Academic Purpose)	アカデミック英語

科目設置学部・研究科	
履修期間	11 月 6 日～12 月 8 日
単位数	
本学での単位認定状況	
授業形態	対面
授業時間数	午前 2 時間　午後 2 時間
担当教授	Peter, Jennifer
授業内容	Comparative essay の書き方・比較対象の論文の見つけ方、ディスカッション、文の言い換え・要約、リーディング、クリティカルシンキング
試験・課題など	ライティングテスト、ディスカッションテスト (2 回)、ポッドキャストの内容要約・クリティカルシンキング、1000 字の comparative essay

学習成果（自由記入）	論文などを読んで理解するだけでなく、それの要約や言い換え、批判的思考などを主に学んだ。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：

科目設置学部・研究科	
履修期間	
単位数	
本学での単位認定状況	
授業形態	
授業時間数	
担当教授	
授業内容	
試験・課題など	
学習成果（自由記入）	

■留学費用について

現地通貨：AUD	円換算：$1＝￥95.43

留学費用項目	現地通貨	日本円（換算）	その他（備考欄）
授業料	6,975	665,596	
滞在費	6,540	624,086	
食費	700	66,798	
図書費	0	0	
学用品費	0	0	
教養娯楽費	400	38,170	クラブ、娯楽
被服費	30	2,862	
医療費	0	0	
保険費	500	47,713	
渡航旅費（航空運賃・空	2,813	268,520	

港税など）			
雑費	1,000	95,426	コーヒー、スナックなど
その他	250	23,856	入学費
その他	2,100	200,000	旅費
その他			
合計	$20395	2,033,027	

以上